

都市と地方をかきまぜ、日本に熱と生气と生み出す「焚きつけ場」

Japan Vitalization Platform (JVP)

2023/9/27



作成:CCCマーケティング総合研究所 田野倉



日本の

活力を生み出す

基盤

Japan Vitalization Platform

都市と地方をかきまぜ、

日本に熱と生気と生み出す「**焚きつけ場**」

自分のやりたいことに火をつけることができる

同じ目標を持って活動する多様な人が集まり
個々が自己実現しながら活躍して飛び立っていく場所

Mission

都市と地方をかきまぜ、新たな人流を生み出し、
日本に生気を吹き込む。

Vision

「多拠点で生きることが当たり前である社会」の実現

Japan Vitalization Platformは、

都市と地方をかきまぜるをキーコンセプトに、

新たな人流を生み出すことで日本に生気を吹き込む活動の総称である。

従来は交わることがなかった企業・団体・個人が協働し、
都市と地方をかきまぜ新しい人流を生み出すことで日本に活力を吹き込むことを目的とする。

2025年までに10,000名・100社が参画するコンソーシアムへ拡大させることを目標とし、
移住や移動、教育などのイノベーションを通じて
「多拠点で生きることが当たり前である社会」の実現をビジョンに掲げる。

発起人は、食を通して生産者と消費者をつなぐアプリを運営する「ポケットマルシェ(現 雨風太陽)」代表の高橋博之氏と
JAL 国際提携部 兼 JAL公認社内ベンチャーW-PIT代表・発起人の松崎志朗氏 ※2021年時点の情報



共同発起人 高橋博之

1974年、岩手県花巻市生まれ。青山学院大卒。
岩手県議会議員を2期務め、2011年9月巨大防潮堤建設へ異を唱えて岩手県知事選に出馬するも次点で落選し、政界引退。
2013年、NPO法人東北開墾を立ち上げ、世界初の食べ物付き情報誌『東北食べる通信』を創刊し、編集長に就任。
2014年、一般社団法人「日本食べる通信リーグ」を創設し、同モデルを日本全国、台湾の50地域へ展開。
2016年、生産者と消費者を直接つなぐスマホアプリ「ポケットマルシェ」を開始。
2018年、47都道府県を車座行脚する「平成の百姓一揆」を敢行。「関係人口」提唱者として、都市と地方がともに生きる社会を目指す。
2019年2月と2022年11月に「カンプリア宮殿」(テレビ東京系列)へ出演。
著書に、『だから、ばくは農家をスターにする』(CCCメディアハウス)、『都市と地方をかきまぜる』(光文社新書)が、共著に『人口減少社会の未来学』(内田樹編、文藝春秋)、『共感資本社会を生きる』(ダイヤモンド社)がある。

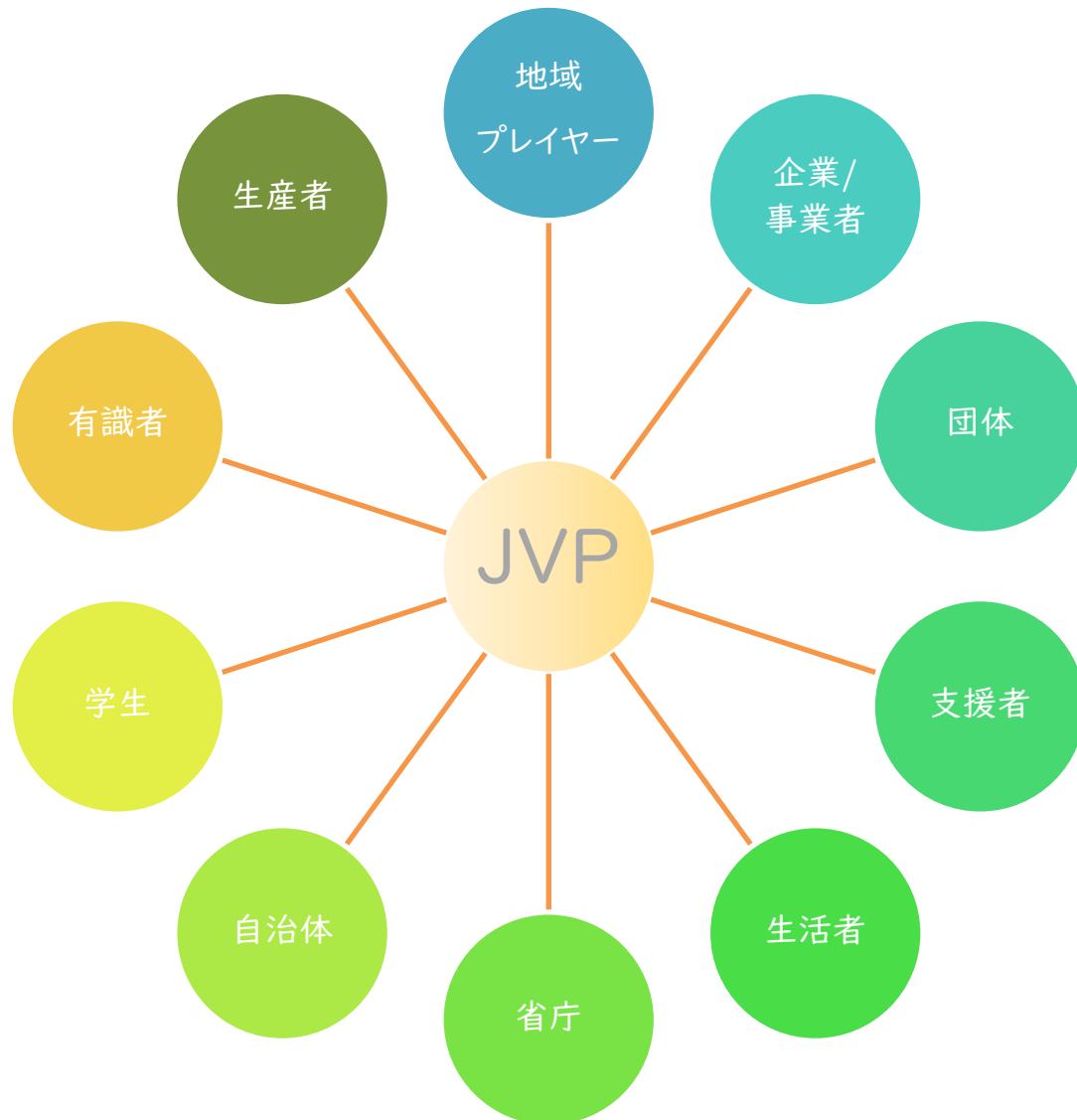
東日本大震災で被災したのは、東北の過疎高齢化が著しい沿岸部の港町や漁村集落だった。そこに暮らす人々の力だけで立ち上がることは難しかった。被災地を支えたのは、支援に訪れた都市住民たちだった。被災者の暮らしや生業を立て直すために、まるで自分ごとのように、持っている知見や技術、ネットワーク、時間、お金を使って、被災地に関わりを持とうとする都市住民が生まれていった。

「関係人口」を増やすことで被災地の町は課題解決力を上げ、賑やかな過疎になる。さらに特筆すべきは、「関係人口」になる都市住民自身の中に大きな変化を起こしていたことだった。関わりは、関心を生む。関心は、行動を惹起する。行動は、生きる自分を歓喜する。都市住民は被災地に関わることで、都市では得難い生き甲斐を手にし、生きるリアリティを再生していった。

私たち人間は、生かし生かされる関係性の中に存在している。自分が生かされている相手とつながれば感謝が生まれ、自分が生かす相手が見えれば喜びが沸き上がる。その相互依存関係を自覚できれば、他者の幸いを自己の喜びとする道を歩むだろう。そのつながりを都市と地方のあいだに無数に生み出していくことができれば、都市と地方を分けていた境界線は溶け、一人ひとりの人間が生きる甲斐のある社会に昇華できるはずだ。

日本は今、未だかつて体験したことがない人口減少社会に突入し、その内実や、都市は過密で疲弊し、地方は過疎で衰退している。だから、「都市と地方をかきまぜる」。都市の持つ高い生産性、良質な情報と、地方が持つ豊かな自然、潤いのある人間関係を結合させることで、人間性の回復をはかり、生活の質を高める。都市のいいところと地方のいいところをフラットに見て再配列し、互いの課題を解決しながらこれまでにない新しい価値を一緒に生み出していく。

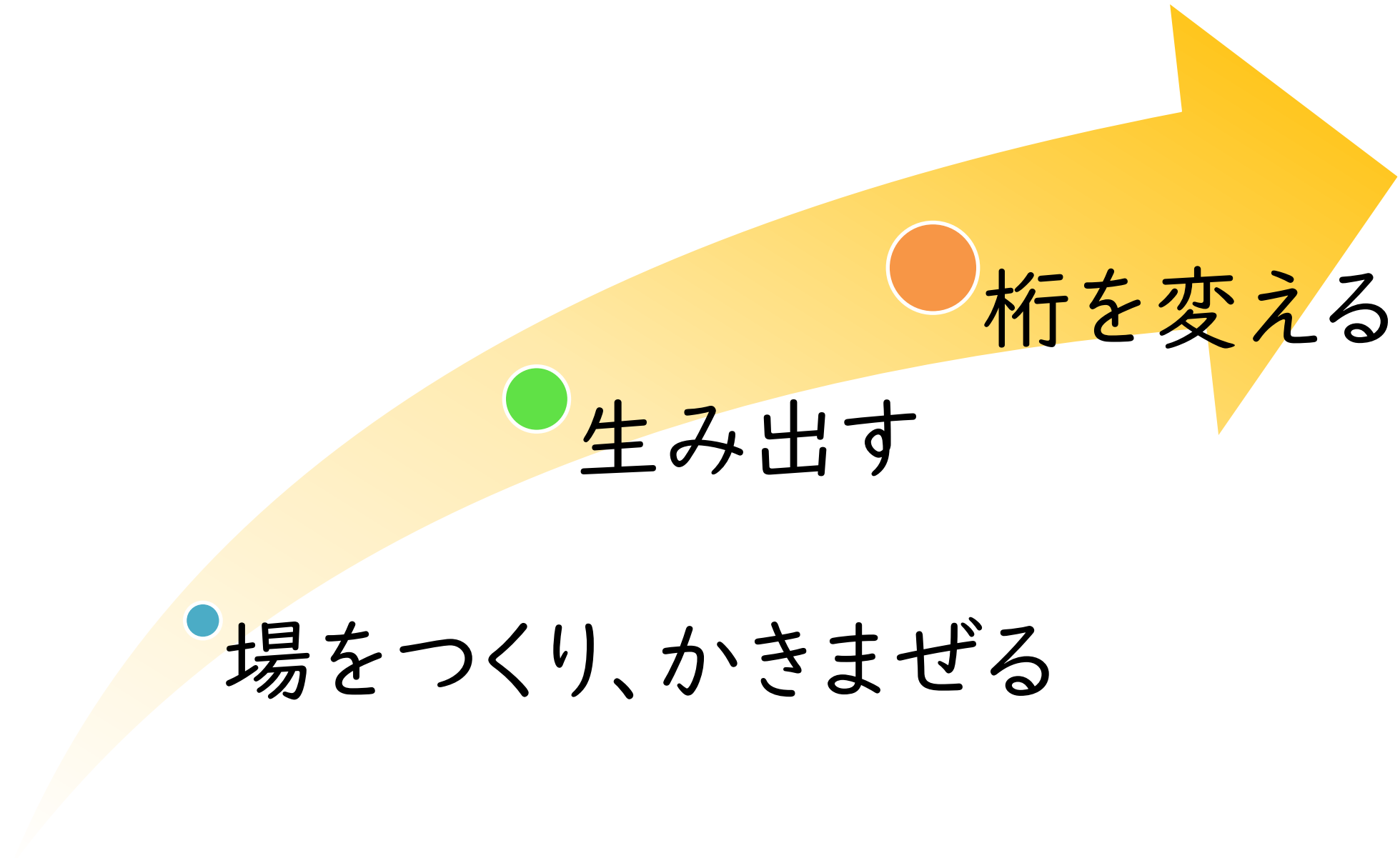
JVP (Japan Vitalization Platform) は都市と地方をかきまぜ、この冷め切った日本に熱と生气と希望を生み出す「焚きつけ場」になる。コロナ禍で広がったデジタライゼーションの波に乗り、二拠点・多拠点居住、関係人口、ワーケーション、半農半X、週末副業、地域活性、事業承継、探求学習、保育留学、自然体験、分散納税、MaaS、第二のふるさと、シェアリングエコノミーを推し進める。モノではなくヒトが動く時代に向かって。



現状、160人以上の
多種多様なメンバーが参加

設立主旨に共感する方であれば
どなたでも参加可能!

2025年までに
10,000名・100社が参画する
コンソーシアムへ



場をつくり、
かきまぜる

- ・都市と地方をかきまぜる場をつくる
- ・⇒従来は交わることがなかった企業・団体・官公庁・個人などが**交わる機会**をつくる
- ・⇒JVP構想実現会議やSNS活用して**ナレッジシェア**（成功&失敗事例・課題・知恵・パッションなどの共有）

生み出す

- ・JVPメンバーが同志に呼びかけて多様な人が集まり、自発的に交わりナレッジをシェアしていく
- ・⇒ナレッジを活かして個々が分散的に目的に向かって動き出す
- ・⇒JVP起点で**ソリューション・イノベーション**を生み出し、都市と地方をかきまぜていく

桁を変える

- ・ソリューション・イノベーションを**点から面**へ
- ・⇒仕組みや仕掛けづくり、国への政策提言や制度改定を推進していく

JVP参加者
**みんなが
主役**

交流

JVP内

Facebookグループ
/Slack/notion

JVP外

LINEオープンチャット
/Twitter ※HP制作中

場作り

定例会

毎週水曜11:30~12:30
かきまぜの場・任意参加

座談会

毎週日曜7:05~8:00
運営会議・任意参加

生み出す

プロジェクト化

この指止まれ形式で任意参加
or個々で連携

分科会

ふるさとメンバーNFT・地域の
おてつだいなど

都市と地方をかきまぜる

関係人口

二拠点・多拠点
居住

ワーケーション

半農半X/農泊

地域プレイヤー

週末副業

地域経済活性・
地方起業

事業承継・
後継者不足

探求学習

保育留学

自然体験

分散納税

MaaS

第二のふるさと

シェアリングエコ
ノミー

町会・祭り

SDGs

まちづくり

地域ファンクラブ

デジタル住民票
NFT

農福連携

ゼロウェイスト

食×農コンテンツ

地域のお手伝い



関わり方は自由です!

困ったら相談してみましょう

(相談先: JAL上入佐・CCC田野倉など)

話を聞いてみたい/
参加してみたい

- ・毎週水曜11:30~12:30の定例会@オンライン参加
(事前にテーマ・登壇者をご連絡⇒任意参加・事前連絡不要)
- ・FacebookメッセージやLINEオープンチャットをチェック!

課題を相談したい

- ・メッセージやLINEオープンチャットに投稿してみましょう!
(課題をヒアリングして、テーマアップもしていく予定)

プロジェクトに参加したい

- ・Slackに参加して、興味のあるチャンネルに参加
- ・どんなプロジェクトがあるか分からない場合は、希望内容をメッセージで伝えてみましょう!

新規プロジェクトを
生み出したい

- ・メッセージやLINEオープンチャットで相談/募集してみましょう!

メンバーと
交流・コラボしたい

- ・制限もなく、自由です。個々でどんどん交流&連絡しましょう!
- ・(自己紹介や相手の事を考えるなど最低限のマナーは守って)

課題と
ソリューションの
マッチング

共創、仲間づくり

仕事機会創出

個別ナレッジシェア

プロジェクト検討

チャレンジ

なにか満たされない。言語化できないことがある

地域でやれること、やりたいことを探してる

地域と関わりたい、支援したいけどどうやったら良いか分からない

意志を持って実現したいことがある

桁を変えるくらいのことを実現したいが、一人だけじゃできないことがある



多様な人が集まり対話を重ね、個々の意志や想いがつながり合うことで
新たなきっかけと力が生まれていくはず

都市と地方をかきまぜたい方、募集！

関わり方は、**自由**です！

まずは、参加してみても
定例会で話を聞いてみるだけでもOKなので
ご参加申込をお願いします

(別途URLをお送りします・個別ご相談もお気軽にどうぞ)